

工 事 請 負 契 約 書 （案）

発 注 者 京都第二赤十字病院と

受 注 者とは

（工 事 名） 京都第二赤十字病院東館東側駐輪場整備工事

の施工について、次の条項と添付の工事請負契約約款、工事費内訳書にもとづいて、工事請負契約を締結する。

1 工 事 場 所 京都第二赤十字病院東館東側敷地

2 工 期 着 手 令和8年8月17日

完 成 令和8年10月30日

3 引渡し の 時期 完成と同一日

4 請 負 代 金 額 金.....円

うち 工事価格.....円

取引に係る消費税及び地方消費税の額.....円

5 請負代金の支払 竣工引渡し後、請求書の受領日から起算して60日以内に支払う。

6 （1）部分使用の有無 無

（2）部分引渡の有無 無

7 解体工事に要する費用等

この工事が、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）第9条第1項に規定する対象建設工事に該当する場合、同法第13条第1項の主務省令で定める事項については、添付別紙のとおりとする。

8 その他.....

本契約の証として本書2通を作成し、当事者が記名押印して、当事者がそれぞれ1通を保有する。

年 月 日

発 注 者 住所
氏名

受 注 者 住所
氏名

工事請負契約約款

第1条 発注者と受注者は、おののお対等な立場において、日本国の法令を順守して、互いに協力し、信義を守り、契約書並びに工事請負契約約款（以下「約款」という。）及び設計図書等に基づいて、誠実にこの契約を履行する。

第2条 受注者は、この約款と設計図・仕様書（質問回答書などを含む。）に基づいて工事を施工する。

2 受注者は、契約を結んだのち、速やかに工事費内訳明細書・工程表を発注者に提出して、その承認をうける。

第3条 受注者は、現場代理人を置く場合は、その氏名を書面をもって発注者に通知する。

2 現場代理人は、現場いっさいの事項を処理し、その責を負う。ただし、工事現場の取締り・安全衛生・災害防止又は就業時間など現場の運営に関する重要な事項については、発注者と協議する。

第4条 受注者は、工事中工事の出来形部分と工事現場に搬入した工事材料に火災保険をかける。なお、支給材料・貸与品などについては、発注者・受注者間で協議して決める。

2 修繕又は増改築工事のときは、契約の目的に関連する工作物その他の物件について、受注者は火災保険をかけなくても良い。

3 火災保険をかける時期・期間・金額・保険会社などは、発注者・受注者間で協議して定め、受注者は契約したのち、速やかにその証券を発注者に提示する。

4 運送その他の損害保険については、発注者・受注者間で協議して定める。

第5条 受注者は、工事を完了したときは、設計図書等のおりに実施されていることを確認して、発注者に対し、検査を求める。

2 検査に合格しないときは、受注者は工期内又は発注者の指定する期間内に修補又は改造して、発注者に対し、検査（発注者が立会いを監理者に委託した場合は、監理者立会いのもとに行う検査）を求める。

3 受注者は、工期内又は発注者の指定する期間内に、仮設物の取払、あと片付などの処理を行う。ただし、処理の方法について発注者の指示があるときは、当該指示に従って処置する。

4 前項の処置が遅れているとき、催告しても正当な理由がなく、なお行われなときは、発注者は、代わってこれを行い、その費用を受注者に請求することができる。

第6条 前条の検査に合格したときは、契約書に別段の定めのある場合を除き、受注者は、発注者に契約の目的物を引渡し、同時に、発注者は受注者に請負代金の支払いを完了する。

2 受注者は、契約書に定めるところにより、工事の完成前に部分払を請求することができる。この場合、発注者の検査に合格した工事の出来形部分と検査済みの工事材料に対する請負代金額の10分の9以内の支払いを求めることができる。

第7条 契約の目的物の種類、品質又は数量について、この契約の内容に適合しないこと（以下「契約不適合」という。）が発見されたときは、発注者は、受注者に対し契約不適合があることを通知し、次の1号から4号に定めるいずれかの措置（発注者が任意に選択できるものとする。）及び次の5号の請求をすることができ、受注者はこれに応じなければならない。

(1) 契約不適合の目的物を受注者の責任と費用負担で、発注者の定める期間内に修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の追完をすべきことを受注者に対し請求すること。

(2) 契約不適合の目的物を受注者の責任と費用負担で、発注者が修補し、又は第三者をして修補させること。ただし、第三者をして修補せしめる場合は、事前に受注者と協議するものとする。

(3) 契約金額の減額を請求すること。具体的な減額の額については発注者及び受注者間で協議のうえ定めるものとする。

(4) 発注者が前各号のいずれかの方法を求めたにもかかわらず受注者がその履行をしない場合（受注者が前各号の履行をする意思がないことが明らかである場合を含む）又は前各号に定める方法では、契約の目的を達することができない場合は、この契約の全部又は一部を解除すること。

(5) 発注者が、受注者に対し、目的物の契約不適合により発注者に生じた損害の賠償を求めること。ただし、契約不適合がこの契約及び社会通念に照らして受注者の責に帰することができない事由によるものであるときはこの限りではない。

2 発注者は、契約不適合について前項の規定に基づく請求をするためには、次の各号の定める期間内に、受注者に対して当該契約不適合について通知しなければならない。

(1) 石造・土造・れんが造・金属造・コンクリート造及びこれらに類する建物その他土地の工作物又は地盤の施工に基づくものは引渡しの日から2年間

(2) 室内装飾・家具などに関する契約不適合については、原則として、引渡しの検査において直ちに修補を求めなければならないものとし、引渡しの検査において発注者が合理的な注意を尽くしても発見できなかった契約不適合については引渡しの日から1年間

(3) 前2号以外の契約不適合については引渡しの日から1年間

3 前項の規定に関わらず、目的物の契約不適合が受注者の故意又は重大な過失に基づく場合及び受注者が引渡しの際に契約不適合を知り又は重大な過失によって知らなかった場合には、発注者は、発注者が契約不適合を知った時から5年間又は引渡しの日から10年間第1項の請求をすることができる。

4 第1項の規定にかかわらず、契約不適合が発注者が提供した材料の性質又は発注者の与えた指示によって生じた場合（受注者がその材料又は指示が不相当であることを知りながら告げなかった場合を除く）は、発注者は第1項の請求をすることができない。

第8条 天災地変その他受注者の責めに帰することができない理由によって契約期間内に完成の見込みがなく、延期しなければならないときは、その理由を明らかにして期限内に延期を請求することができる。この場合その請求が正当と認められるときは、第9条の遅延違約金を免除することができる。

第9条 前条以外の理由によって頭書の工期内に工事を完成することができないときは、その理由を明らかにして期限内に延期を請求することができる。この場合において履行期限後に完成する見込みがあるときは、発注者の承認を受けて特に遅延違約金を支払い、延期の期間を明らかにして履行することができる。ただし、遅延違約金は期限の翌日から起算して、遅延日数に応じて、請負代金に対し年10.0%の割合で計算した額とする。

第10条 発注者が第6条の請負代金の支払いを完了しないときは、受注者は、遅滞日数に応じて、支払遅滞額に対し年10.0%の割合で計算した遅滞料を発注者に請求することができる。

2 発注者が前払又は部分払を遅滞しているときは、受注者は、遅滞日数に応じて、支払遅滞額に対し年10.0%の割合で計算した遅滞料を発注者に請求することができる。

3 発注者が第1項の遅滞にあるときは、受注者は契約の目的物の引渡しを拒むことができる。この場合、受注者が自己のものと同一の注意をもって管理したにもかかわらず契約の目的物の引渡しまでの管理のために特に要した費用は発注者の負担とする。

第11条 発注者は、必要によって、書面をもって受注者に通知して工事を中止し又はこの契約を解除することができる。この場合、発注者は、これによって生じる受注者の損害を賠償する。

2 次の各号の一に該当するときは、発注者は、書面をもって受注者に通知して工事を中止し又はこの契約を解除することができる。この場合（(5)に掲げる事由場合を除く。）、発注者は、受注者に損害の賠償を請求することができる。

(1) 受注者が正当な理由なく、着手期日を過ぎても工事に着手しないとき。

(2) 工事が正当な理由なく、工程表より著しく遅れ、工期内又は期限後相当期間内に、受注者が工事を完成させる見込みがないと認められるとき。

(3) 前号(1)又は(2)のほか、受注者がこの契約に反し、その違反によって契約の目的を達することができないと認められるとき。

(4) 受注者が建設業の許可を取り消されたとき又はその許可が効力を失ったとき。

(5) 受注者が支払いを停止する（資金不足による手形、小切手の不渡りを出すなど）などにより、受注者が工事を続行することができないおそれがあると認められるとき。

(6) 受注者が第 12 条第 4 項の各号の一に規定する理由がないのにこの契約の解除を申し出たとき。

(7) 受注者が以下のいずれかに該当するとき。

ア 受注者の役員等（受注者が個人である場合はその者、受注者が法人である場合は役員又は支店若しくは営業所の代表者、受注者が団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号。以下「暴力団対策法」という。）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

イ 暴力団（暴力団対策法第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ウ 受注者又はその役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的で、又は第三者に損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

エ 受注者又はその役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

オ 受注者又はその役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしていると認められるとき。

カ 受注者又はその役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

3 発注者は、書面をもって受注者に通知して、第 1 項又は第 2 項で中止された工事を再開させることができる。

4 第 1 項により中止された工事が再開された場合、受注者は、発注者に対してその理由を明示して必要と認められる工期の延長を請求することができる。

第 12 条 次の各号の一に該当するとき、受注者は、発注者に対し、書面をもって、相当の期間を定めて催告してもなお解消されないときは、工事を中止することができる。

(1) 発注者が前払又は部分払を遅滞したとき。

(2) 前号のほか、発注者の責めに帰すべき事由により工事が著しく遅延したとき。

2 前項における中止事由が解消したときは、受注者は、工事を再開する。

3 前項により工事が再開された場合、受注者は、発注者に対してその理由を明示して必要と認められる工期延長を請求することができる。

4 次の各号の一に該当するときは、受注者は、書面をもって発注者に通知してこの契約を解除することができる。

(1) 第 1 項による工事の遅延又は中止期間が、工期の 4 分の 1 以上になったとき又は 2 ヶ月以上になったとき。

(2) 発注者が工事を著しく減少したため、請負代金額が 3 分の 2 以上減少したとき。

(3) 発注者がこの契約に違反し、その違反によって契約の履行ができなくなったと認められるとき。

5 第 1 項又は第 4 項の場合、受注者は、発注者に損害の賠償を請求することができる。ただし、本契約及び社会通念に照らして発注者の責に帰することができない事由によるものであるときはこの限りではない。

第 13 条 発注者又は受注者は、相手方の契約不履行によって損害を受けたときは、相手方に対し、その損害賠償を請求することができる。ただし、本契約及び取引上の社会通念に照らして、相手方の責に帰することができない事由によるときは、この限りでない。

第 14 条 この契約に定めのない事項については、必要に応じて発注者・受注者間で協議して定める。

第 15 条 この契約について発注者・受注者間に紛争が生じたときは、発注者の所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とする。

法第 13 条及び省令第 7 条に基づく書面

(建築物に係る新築工事等の場合)

1. 分別解体等の方法

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①造成等	造成等の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④屋根	屋根の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

2. 解体工事に要する費用

なし

3. 再資源化等をするための施設の名称及び所在地
(特定建設資材廃棄物について記載されていればよい)

別紙のとおり

4. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用
(受注者の見積金額)

円(税込)

別 紙
(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地

※受注者が選択した施設を記載（品目ごとに複数記入可）